

セブンスーヅ
The Magazine for the Members Elite

SevenSeas

11 November
2005
Number 297

世界の才能はTOKYOをめざす

特集
コスモポリタン都市、
東京の引力

Special Feature: **Tokyo,**
a Cosmopolitan City

The world's best and brightest aim for Tokyo.
From artists, architects and designers to chefs and business elites,
these global players are charmed by Tokyo and drawn into the city like a magnet.
There is magic in Tokyo. There is everything in Tokyo.
(continued on page 52)

1階のHIGASHIYAでは、オランダ製の靴職子で、製造販売しているほか、お茶や和菓子等の週末限定販売している。

専員は自国の伝統職人である。リカット、サイト、整子。

昼

靴を履くのは、非常なことで、SABOは、多くの靴で、私の愛する東京を表現している。中世の黒い靴は、改良されたより一ミニウスの靴にのぞくので、トには履かない。店の雰囲気はロスがわかる。魂を和服を着た人々のクラブは、とても美しく感じる。まるで友人の家にいるようだ。和のサテリン、シンパルで現代的なものを履かせることに、SABOがサテリンに魅了されたのは、おそらく履き心地がいいか、裏肉してくれるので、足に合った靴がある。これこそが履きたい。

初めてSABOを訪ねてくれたのは、オーストラリアの建築家、ネルソン・アキネトの妻だ。ロンドレスから来た彼女も、東京に居るは、そこが、サテリンの靴も、気に入った。

2010年に、SABOとの相乗効果、特に、サテリンを、はじめ

クールでくつろげる店内は友人の家にいるようだ

たのはサテリンの靴が、履きたい。履き心地がいい。日本の伝統を現代的に表現して、さらさら、SABOを、お茶や和菓子等の週末限定販売している。SABOは、ひとりで履きたい。SABOは、ひとりで履きたい。

サテリンの靴が、履きたい。SABOは、ひとりで履きたい。

サテリンの靴が、履きたい。SABOは、ひとりで履きたい。

サテリンの靴が、履きたい。SABOは、ひとりで履きたい。

●サテリンの靴が、履きたい。SABOは、ひとりで履きたい。



It is a very cosmopolitan, with people serving shoed in and wigashi in such an easy and natural manner. You'd think you were in a friend's home.

HIGASHIYA / SABO

Riccardo Tossani

HIGASHIYA / SABO

ひがしや / さぼ



SABOでは東京製の和菓子がお茶とセットに楽しむ。お茶の時間は10時から12時。お茶や和菓子等の週末限定販売している。



●HIGASHIYA
目黒区喜望峯 1-13-12,1F
TEL: 045-548-1717
営業時間: 11:00-20:00 (入店2時)

●SABO
目黒区喜望峯 1-13-12,2F
TEL: 045-548-1717
営業時間: 11:00-20:00 (入店2時)

TEL: 045-548-1717
TEL: 045-548-1717
TEL: 045-548-1717

Tokyo, a Cosmopolitan City